

8 学力向上推進計画

1 目標

確かな学力を身につけ、豊かな心と体力をもち、たくましく生きる児童の育成を図る。

2 めざす子ども像

- 自ら課題（めあて）を見つけ、自ら学び考え、積極的に学習する児童
- お互いの良さを認め合い、だれとでも協力し合う児童
- 基本的な生活習慣を身につけ、ねばり強く最後までやりとげる児童

3 方針

- 「学力向上推進5か年プラン・プロジェクトⅡ」に基づき学推・研究推進部会、運営委員会を中心として、全校体制で組織的な取組を推進する。

4 今年度の推進の重点

- (1) 【家庭学習】（自主学習）
- (2) 【語彙力の育成】

5 推進の視点

- (1) 子どもの実態を把握して学校・家庭・地域社会の課題を明らかにし、課題に対応した取組を推進する。そのために、学年から1名(学年主任)を選出し学推・研究推進部会を設置する。
- (2) 学校・家庭・地域社会の役割を明確にし、具体的計画に基づいた取り組みを推進する。
- (3) 各学年の発達段階に応じて、各学年・各学級が日常的に授業改善を共通実践し、継続することを推進する。
- (4) 学校・家庭・地域社会の緊密な連携による組織的な取り組みを推進する。
- (5) 達成目標の実現状況を常に評価し、実効性のある取り組みをする。

6 推進の内容

- (1) 学力向上主要施策を受け、より実効性のある具体的な取り組み事項を決めて推進していく。
- (2) 学力向上推進主任（以下、学推主任）と学年主任を中心とした学推・研究推進部会を必要に応じて行う。
- (3) 校内では、授業力を高めるための校内研修を活性化すると共に、日常的・全学級共通的取組・継続的な取組を推進する学力向上推進を、全職員の共通理解のもと推進していく。家庭・地域ではPTA、自治会を中心に推進していく。
- (4) 『学力向上推進5か年プラン・プロジェクトⅡ』『「問い」が生まれるサポートガイド』を参考に、授業を進める上で、学習指導の工夫・改善を行うことに努める。
- (5) 全国学力・学習状況調査や県学力到達度調査、学びのたしかめ（県学力定着状況調査）、市学力到達度調査の分析結果を活用する。
- (6) 今年度の学力推進に関する保護者説明会を6月に開催し、実践報告会を2月に行う。
- (7) 学推・研究委員会では、学推の取組の進捗状況を確認し、対応策を検討していく。
- (8) 学推に関するアクションプラン・公開・公表を推進し、家庭・地域に信頼される学校を築く。
- (9) スキル、基礎的・基本的・発展的な学習

7 市の学力向上推進重点実践事項を受けた本校の実践事項

『確かな学力の向上』のために

- (1) 基礎的・基本的な知識・技能の習得
 - ① 学習目標や達成目標を確実に持たせ、確認問題等で形成評価を行い「できる」「わかる喜び」を味わわせる授業実践に努める。
- (2) 思考力・判断力・表現力等の育成（授業で意図的・計画的に言語活動を実施）
 - ① 各教科の学習で習得した知識・技能を活用する学習活動の充実を図るため、児童が「言語活動」に対し意欲的に取り組むための指導の工夫を行い授業改善を図る。（指導計画への位置づけ）

- ②総合的な学習の時間を中心に、教科等を横断した課題解決的な学習や探求活動の展開を図る。
- (3) とよみっ子タイムの充実
「とよみっ子タイム」を通して、授業の補習や復習、予習をして学力の定着を図る。(全員対象)
また、プリントスキルタイムや教育相談、アンケート、PCスキルタイムなどの時間にもあてる。
(毎月の運営委員会で取り組みを報告し合い、良い取り組みを参考にして各学年で共有する。)
- (4) 主体的に学習に取り組む態度の育成
①体験的な学習やキャリア教育を通じ、学ぶ意義を認識させる。(学校での学びが社会で活かされることを実感できる「分かる授業」の構築)
②主体的に教材に向かわせ、児童の探求や思考を促し多様な考えを引き出す発問の工夫に努める。
- (5) 授業における評価を生かした指導
①基礎・基本を明確にした授業を実施する。
②診断的評価や形成的評価による児童の学習状況を踏まえ、個に応じた指導方法を工夫する。
③ALT や JTE を効果的に活用して、英会話を楽しませる。
- (6) コンピューター・視聴覚機器を活用した指導
①各教科等でデジタル教科書や電子黒板等の教材コンテンツ等を活用した ICT 教育の充実に努める。
②教育活動全体を通じた情報モラルの指導を行う。
- (7) 学校図書館を活用した指導
①朝の読書活動や読み聞かせ等による読書活動の充実とファミリー読書を奨励する。
②読書センターや学習・情報センターとしての学校図書館活用の充実に努める。
- (8) 学習を支える力の育成(学習規律の徹底)
①学習用具の準備をきちんと行わせるとともに、ベル前着席(2分前着席)、黙想などの活動を取り入れ、聞く態度などの基本的な学習態度の指導の充実に努める。
②授業と連動した宿題の与え方を工夫し、家庭学習の習慣化と内容の充実に努める。

『豊かな心の育成』のために

- (1) 人間関係づくりの力を育む取組の充実
①児童の内面に響く道徳教育を実践するため教師が共感する資料を使って授業実践を行うよう努める。
②特別活動の充実に努め、望ましい人間関係づくりのための実践活動を推進し、仲間や学校外の人々とかかわる多様な交流体験の充実に努める。
③考えや気持ち等を言葉で相手に伝え合う活動の充実に努める。(言語活動の充実)
- (2) 自己の将来や生き方を考える指導の充実
①キャリア教育プログラムを活用して、普通の教育とキャリア教育で育む基礎的・汎用的能力との関連を図った指導を行う。
②職場見学の充実に努める。
③自己有用感を育む学級活動・児童会活動を展開する。

『健やかな体の育成』のために

- (1) 生活との関連を図った健康づくりの充実
①保健・食に関する指導の充実に努める。
②栄養士を活用した食育指導の充実に努める。
③危険回避能力の向上を図る。
- (2) 日常的な運動、遊びを通じた体力づくりの充実
①校内体力向上委員会の組織・充実に努める。(運営委員会が兼ねる)
②日常の運動・遊びを通じた体力・泳力の向上を図る。
③登校の際には「てくてく登校」をする。「てくてく登校」は当たり前を継続する。

『基本的な生活習慣の確立』のために

- (1) 生活リズムの確立
①「早寝、朝ごはん、てくてく登校、家庭学習、あいさつ、早寝」の取組の充実に努める。

- ②家庭におけるルール作り（テレビ・ゲームの時間、家庭学習の時間、スマホの利用等）を推進する。
- (2) 規範意識・マナーの育成
 - ①あいさつ、きまりを守る、命を大切にすることを身につけさせるための支援を図る。
 - ②自分のものを大切にすることを支援する。

8 『確かな学力の向上』のための8の強化策

- (1) 『学力向上推進5か年プラン・プロジェクトⅡ』『「問い」が生まれるサポートガイド』の活用を通じた授業改善
- (2) 諸学力調査結果を踏まえた年間教育計画の見直しと授業改善のポイントの共有
- (3) 教材研究の時間の確実な確保（週時程への位置づけ、職員室黒板に明記、会議等を入れない）
- (4) 諸調査問題の活用（プリントアウトしファイルする、時間を決める、結果を共有する）
- (5) 授業と連動した宿題の提供と確実な点検・評価（学びを定着させる、授業で生かす課題を与える）
- (6) 学力向上強化月間の設定と計画的な取組（スローガンの表示、取組の評価と対応策の検討）
- (7) テスト等の後処理の徹底による課題発見及びその改善と、テスト結果の共有で授業改善のポイントの共通理解
- (8) 校内研修や自主研修で授業力の向上（研修ふり返しシートの活用で学びを授業実践に確実に生かす）

9 家庭地域の役割と取組み

- (1) 望ましい生活リズムの確立（早寝、早起き、朝ご飯、あいさつ、返事等）
- (2) 家庭学習の習慣化
- (3) 読み聞かせ、親子読書、読書時間の設定等によるファミリー読書の推進
- (4) 地域行事への積極的参加
- (5) 朝の交通安全指導・校区パトロール、地域での声かけと見守り
- (6) 週末の有効活動、「家庭の日」の親子ふれあい活動、親子体験活動への積極的参加
- (7) 地域教育懇談会の実施

10 共通実践と達成目標 ○はとよみ小の教育課題の内容から抜粋

- (1) 『とよみトライ！アングル』の実践（凡事徹底）
 - ①あいさつ→学校評価「進んであいさつをしている」の回答で肯定的な回答が80%以上。
(今年度は76.1%)
 - ②ふわふわことば→学校評価「ふわふわ言葉を使っている」の回答で肯定的な回答が80%以上。
(今年度は68.8%)
 - ③家庭学習→学校評価「家庭学習（宿題、自主学習）をすすんでやっている。」の回答で肯定的な回答が90%以上。(今年度は84.3%)
 - ◎児童一人一人に「とよみトライ！アングル」の3項目を赤黄青（シール）の3段階でどれだけ達成できたかを評価させる。学級で「とよみトライ！アングル達成表」を掲示しその掲示表にシールを貼り、年間でどれくらいできるようになったのを見取る。（毎週実施）
 - 進んで自分の考えを話し、友達と話し合い、考えを深める等、対話力が十分身につけていない。
→学校評価「授業では、自分の考えを持って話し合い、友達の意見や考えを聴いて自分の考えをまとめたり、変えたりすることがある。」の回答で肯定的な回答が80%以上。
(今年度は71.8%)
 - 習得した知識・技能を活用して課題を解決する力が不十分である。
→単元テスト（国・算）で80点以上が8割（1年90点以上）
- (2) 語彙力の育成
辞書の活用（my辞書）、図書館の活用
- (3) 学ぶ意義を理解し、全児童が目標をもって学ぶ
→学校評価「夢や目標をもっている」の回答が100%
- (4) 『とよみっ子の学習の約束』を守って学習ができる。

→学校評価「学習規律を守っている」の肯定的な回答が80%以上

(5) 毎月の生活目標を8割の児童が実践できる。

(6) 読書や家庭学習等で各学年の目標を達成する。

◎読書目標達成8割 ※目標冊数は目安とし、実際の読書活動においては読書の質を高める工夫を行う。

学年	1年	2年	3年	4年	5年	6年
目標冊数 (冊)	90	90	70	70	80	80

◎家庭学習目標達成の目安

学年	1年	2年	3年	4年	5年	6年
ノートの冊数 (冊)	6	8	8	8	8	8
学習時間の目安 (分)	20	30	40	50	60	70

(7) 運動(縄跳び, 水泳, 体力調査等)の自己記録を更新する

◎卒業までに25メートル以上泳げる児童が8割

1.1 公開・公表の方法等について

(1) 授業参観や研究発表会を通して、児童の学ぶ様子を公開する。

(2) 教育活動や学校運営について、地域に情報を発信する。(学校だより, ホームページ)

(3) 次の調査・アンケート結果及び取組を保護者に公表する。(実践報告会にて報告)

① 諸学力調査の結果及び単元テストの定着状況

② 「学校生活」のアンケート結果

③ 体力の状況(泳力調査結果含む)及び「てくてく登校」の状況

とよみ小学校 学力向上推進年間サイクル

学推目標：確かな学力を身につけ、豊かな心と体力をもち、たくましく生きる児童の育成を図る。

	月	月間（学力向上重点実践事項）	取組内容
Plan (計画)	1月	<div style="border: 1px dashed black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;">今年度の「学力向上年間サイクル」スタート</div> <学力向上強化月間> ◎学力のステップアップ ◎当該学年の学習内容の定着 <体力向上強化月間> ◎粘り強さ、意欲の向上	<input type="checkbox"/> 冬休み明けの取組 ・冬休みの宿題点検 ・既習事項の定着の確認 ・フォローアップシートの活用 <input type="checkbox"/> 「縄跳びにチャレンジ」の実施 ・大縄 ・短縄
	2月	<学力向上強化月間>	<input type="checkbox"/> 県学力到達度調査（2/17）対象：3年～6年 ・県学力到達度調査結果分析会（2/18） ・学びのたしかめ（11月）の課題に対する具体的取組の成果が出ていたか評価する。 ・落ち込みの見える問題から課題を見だし、具体的な対策を講じる。
	3月	<学力向上強化月間>	<input type="checkbox"/> 1年間の振り返り ・各種取組への評価を行い、次年度の取組へ活かす。
	春季休業	◎春休み期間中	<input type="checkbox"/> 春休みの取組 ・全児童へ宿題を配布。→次年度の学級担任でチェックする。
Do (実践)	4月	<学力向上強化月間> ◎学習規律の定着	<input type="checkbox"/> 到達度調査の課題解決のための具体的取組の策定（新職員） ・前年度の分析を受けて、新学年職員で具体的対策を講じる。 <input type="checkbox"/> 「黄金の1週間」共通実践の取組（4/8～16） ①安全な学校生活 ②安全で健康的な登下校 ③授業時間の心得 ④準備時間、休み時間の過ごし方 ⑤給食時間の過ごし方 <input type="checkbox"/> 全体朝会【生活：学推】（4/16） ・全学年で学習規律の共通理解を図る。
	5月	<学力向上強化月間> ◎自主学習の進め方	<input type="checkbox"/> 全国学力・学習状況調査（5/27）対象：6年 ※分析は8月に実施。 <input type="checkbox"/> 自主学習の取組開始 ・自主学習の進め方や計画の仕方等を確認する。
	6月	<平和月間> ◎基本的生活習慣の見直し	<input type="checkbox"/> はつらつカード①（実態調査） ・1週間の生活の記録を取り、基本的生活習慣を見直す。 ・家庭と連携し生活習慣を見直す。 ・「早寝、早起き、朝ご飯、あいさつ、てくてく登校」の奨励。 <input type="checkbox"/> 学びのたしかめ（学力定着状況調査）対象：3年～5年 国・算 ・県到達度調査の課題に対する具体的取組の成果が出ていたかどうか評価する。 ・落ち込みの見える問題から課題を見だし、具体的な対策を講じる。
Check (点検・評価)	7月	<学力向上強化月間> ◎自主学習の強化 ◎学習内容の定着	<input type="checkbox"/> 自主学習の取組 ・ノートリレーの実施①（1クラス2冊回す） ・自主学習の仕方を学び合う。 <input type="checkbox"/> 第1回漢字力テスト、算数まとめテスト ・1学期前半までの学習内容の定着をみる。
	8月 夏季休業	<指導力向上月間> ◎わかる授業づくりの推進	<input type="checkbox"/> 夏休みの宿題の配布（既習内容の定着と活用問題） <input type="checkbox"/> 全国学力・学習状況調査の分析（校内研修） ・落ち込みの見える問題から課題を見出す。 ・具体的な対策を講じ、授業改善ポイントの共有をする。
Action (改善)	9月	<学力向上強化月間> ◎学習規律の定着	<input type="checkbox"/> 夏休み明けの取組 ・夏休みの宿題の点検 ・既習事項の定着の確認と教科 ・学習規律と学習習慣の徹底
	10月	<読書月間> ◎読書活動の充実	<input type="checkbox"/> 読書活動の推進 ・図書室と連携し、読書活動の充実を図る。
	11月	<学力向上強化月間> ◎自主学習の深化 ◎基本的生活習慣の見直し	<input type="checkbox"/> 学びのたしかめ（学力定着状況調査）対象：3年～5年 算数 ・学びのたしかめ（6月）・全国学力・学習状況調査の課題に対する具体的取組の成果が出ていたかどうか評価する。 ・落ち込みの見える問題から課題を見だし、具体的な対策を講じる。 <input type="checkbox"/> 自主学習の取組 ・ノートリレーの実施②（1クラス2冊回す） ・自主学習の仕方を学び合う。 <input type="checkbox"/> はつらつカード②（改善状況調査）※6月実施との比較。 ・1週間の生活の記録を取り、基本的生活習慣を見直す。 ・家庭と連携し生活習慣を見直す。 ・「早寝、早起き、朝ご飯、あいさつ、てくてく登校」の奨励。
	12月	<学習内容定着月間> ◎学習内容の定着	<input type="checkbox"/> 市学力到達度調査(12/1)対象：4年～6年 <input type="checkbox"/> 第2回漢字力テスト、算数まとめテスト ・1学期後半～2学期前半までの学習内容の定着をみる。
	冬季休業		<input type="checkbox"/> 冬休みの宿題の配布（既習内容の定着と活用問題）
Plan	1月	<div style="border: 1px dashed black; padding: 2px;">次年度の「学力向上年間サイクル」スタート</div>	※上記の取組と同様

【年間通しての実践】 火・水・木曜日（とよみつ子タイム）

市学テの課題に対する具体的取組（授業改善）

県到達度調査の課題に対する具体的取組（授業改善）

学びのたしかめ（6月）・全国学テの課題に対する具体的取組（授業改善）

具体的取組に対する評価

具体的取組に対する評価

具体的取組に対する評価